



築港・天保山エリア

～戦略的な観光施策（広域行政）と
連携したまちづくりに向けて～

2015年9月8日（火）13:00～14:00
港区役所



経過と取り組み

地域のにぎわいづくり
やコミュニティ形成を促進

(市民協働的手法)

築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会の取り組み 天保山まつり 平成20年度から実施（8年目）



海遊館前広場のにぎわい（エリア北部）



区役所：実行委員会事務局

天保山まつり

港商店街のにぎわい（エリア中部）



USJパフォーマー（区内在住）によるパフォーマンス

区内企業の相撲部によるちゃんこ鍋振る舞い



天保山まつり

赤レンガ倉庫横広場のにぎわい（エリア南部）



【成果】

参画メンバー拡大、事業規模が年々拡大

開催エリア 海遊館広場のみ エリアー帯 実行委員会 11団体 24団体

ボランティア数 20人 364人 協力・協賛企業 0団体 39団体

花の海遊ロード美化協議会の取り組み

平成21年度から実施（7年目）



「花の海遊ロード」（エリアのメイン通り）

[取組内容]

- ・花飾りによる美化活動（区役所が花種を提供、地元企業等がプランターを寄附、地域が花の育成）
- ・ベンチ型フットライト設置（地元企業等の寄附金：33基設置）
- ・船の汽笛を模した時報・植栽帯のワインターアイルミネーション 等

[メンバー]

- ・地域住民、商店会、企業（9社）、行政（区・建設局・港湾局）

区役所：実行委員会事務局

【成果】

美化活動から
多様な「おもてなし」の活動へ



現状の課題

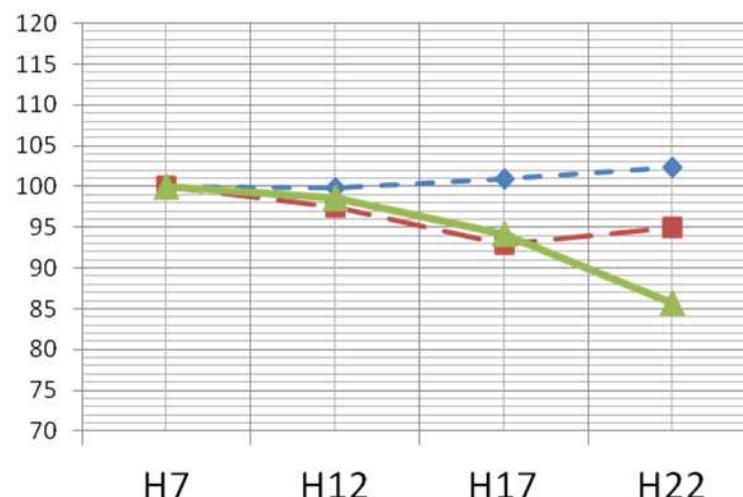


課題 : 恒常的なぎわいに至っていない

課題 : エリア全体のにぎわいに至っていない

課題 : まちの衰退と人口の減少

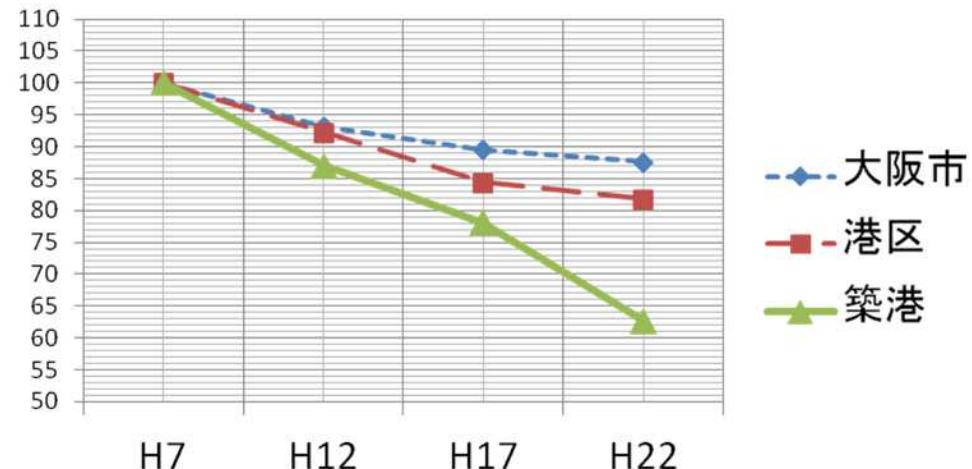
総人口の推移



築港地域の総人口の推移

H7:7,726人 H22:6,621人
(14.3%)
(大阪市 2.4% 増 港区 5.1%)

0~14歳人口の推移



築港地域の0~14歳人口の推移

H7:991人 H22:621人
(37.3%)
(大阪市 12.4% 増 港区 18.2%)



今後の取り組みの考え方

課題（現状）

課題 : 恒常的なぎわいに至っていない

課題 : エリア全体のにぎわいに至っていない

課題 : まちの衰退と人口の減少

広域の新たな位置づけ

大阪都市魅力創造戦略の重点エリアに！

戦略的な観光施策による内外からの集客力の強化

インナーハーバーの再生強化による集客観光拠点化

- ・赤レンガ倉庫の活用 (活用事業者と30年契約) 年間22百万円の収入
- ・中央突堤2号上屋の活用 (活用事業者と30年契約) 年間40百万円の収入

築港・ベイエリア地区 大阪都市魅力創造戦略の重点エリア



「クルーズ客船の母港化」「インナーハーバーの再生強化」
第7回大阪府市都市魅力戦略推進会議(27年6月) 資料抜粋



赤レンガ倉庫



中央突堤北岸壁に隣接する2号上屋（事業者活用）



27年11月1日より30年間の土地賃貸借を開始予定



中央突堤からの美しい夕陽



計画提案書より
用途：クラシックカー・高級中古車
販売、レストラン&カフェ、
ゲストハウス
年間集客数： 約7万人

今後の取り組みの考え方



戦略的な観光施策（広域行政）と連携したまちづくり

〔基礎行政〕

地域のにぎわいづくりと経済の振興（港区役所）

魅力の創出や情報発信を、地域・民間ベースで活動資金を確保しながら持続的、自立的に推進することができる仕組みづくり（「（仮称）エリア観光協会」の設立）

エリア魅力を活かした活力あるまちづくり（港区役所）

〔広域行政〕

国際集客観光拠点の形成をめざす（経済戦略局）

（国内外へのプロモーション、他の観光拠点との連携など）

「水都大阪の玄関口」としての取り組み（経済戦略局）

クルーズ客船の母港化など（港湾局）

（「世界に向けた海の玄関口」としての取り組み）